

ヒョウ（雹）梨などの被害は深刻



再生産できるように 農家への支援を緊急要請

幸水、豊水など全面的にやられた。 ランクが下がると収入が減る。
出荷用段ボール箱の支払いがある。 病害を防ぐ消毒代がかかる。

6月3日の降雹により、県の調査では県内5市でキャベツ、ネギ、こまつな、えだまめ、キウイフルーツ等の農作物や、農業生産施設（ビニールハウス）が影響をうけ、その被害総額は17億6630万円におよんでいます。とりわけ、梨は市川市、船橋市、松戸市、鎌ヶ谷市などで227ヘクタール、16億4619万9千円にも達する甚大な被害です。

日本共産党県議団と同千葉県委員会は、被害農家から切実な訴えを聞き、20日、知事宛てに、緊急要請（下囲み）しました。要請は、加藤英雄県議、みわ由美県議、さいとう和子元衆院議員、浅野ふみ子党県副委員長、丸山慎一前県議、白石ちよ党花見川区県政対策委員長、泉せいじ党市浦地区暮らし仕事応援部長が参加しました。

県は、共済や収入保険を強調しますが、「掛け金が高い、補償が少ない、手続きが面倒」で加入農家は少なく、被害地域管内の加入率は、果樹共済約4%、収入保険約6%にすぎません。すべての被災農家への見舞金（現金）を急ぐべきです。

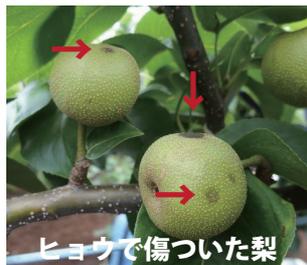
1. 当面の経費を確保できるよう早期に見舞金を支給。
2. 食することが可能な農作物は、県が速やかに積極的に買い上げ、学校給食の食材やフードバンク、子ども食堂などに無償提供。
3. 収入保険、共済の掛け金負担の軽減（補助）を拡充。
4. 速やかに災害対策資金を発動し、再生産に必要な資金（無利子）確保。貸付限度額や償還期間、償還据置期間などを最大限活用しやすくし、事実上の返済免除も検討。

梨 販売促進に力をいれる

県の特産品の梨は、通常、高値で取引されますが、傷ついた梨は、ランクが下がり、農家は減収となります。県は、今後の生育状況のみを、販売促進などに力を入れると述べました。



梨農家から被害状況を聞く



ヒョウで傷ついた梨



売り物にならないキャベツ



出荷できないネギ

要請書全文



「力対力」は、軍事力増強の悪循環をまねく戦争への危険な道
さらなる消費税増税、社会保障費削減につながる大軍拡ストップ